

オホーツク海 4 月 魚探情報

—試験調査船「北洋丸」による海洋観測および魚群分布調査の結果—

平成27年 4月28日

北海道立総合研究機構 稚内水産試験場

(担当：調査研究部 美坂 0162-32-7166)

- ◎宗谷暖流の強い影響によりオホーツク海沿岸域の底層水温は高め
- ◎スケトウダラの魚群反応量は過去2年と同程度の低い水準

1 調査概要

2015年(平成27年)4月20~24日に稚内沖~網走沖のオホーツク海において、試験調査船北洋丸により、海洋観測および計量魚探を用いた魚群分布調査を実施しました。

2 水温観測の結果

調査海域における底層水温(海底上3~5m)の分布を図1に示します。昨年度は多くの定点で2℃以下となっていたが、今年度は一転して、宗谷暖流の強い影響により、水深120m以浅における底層水温は概ね4℃以上となっており、過去5年と比較して高くなっていました。

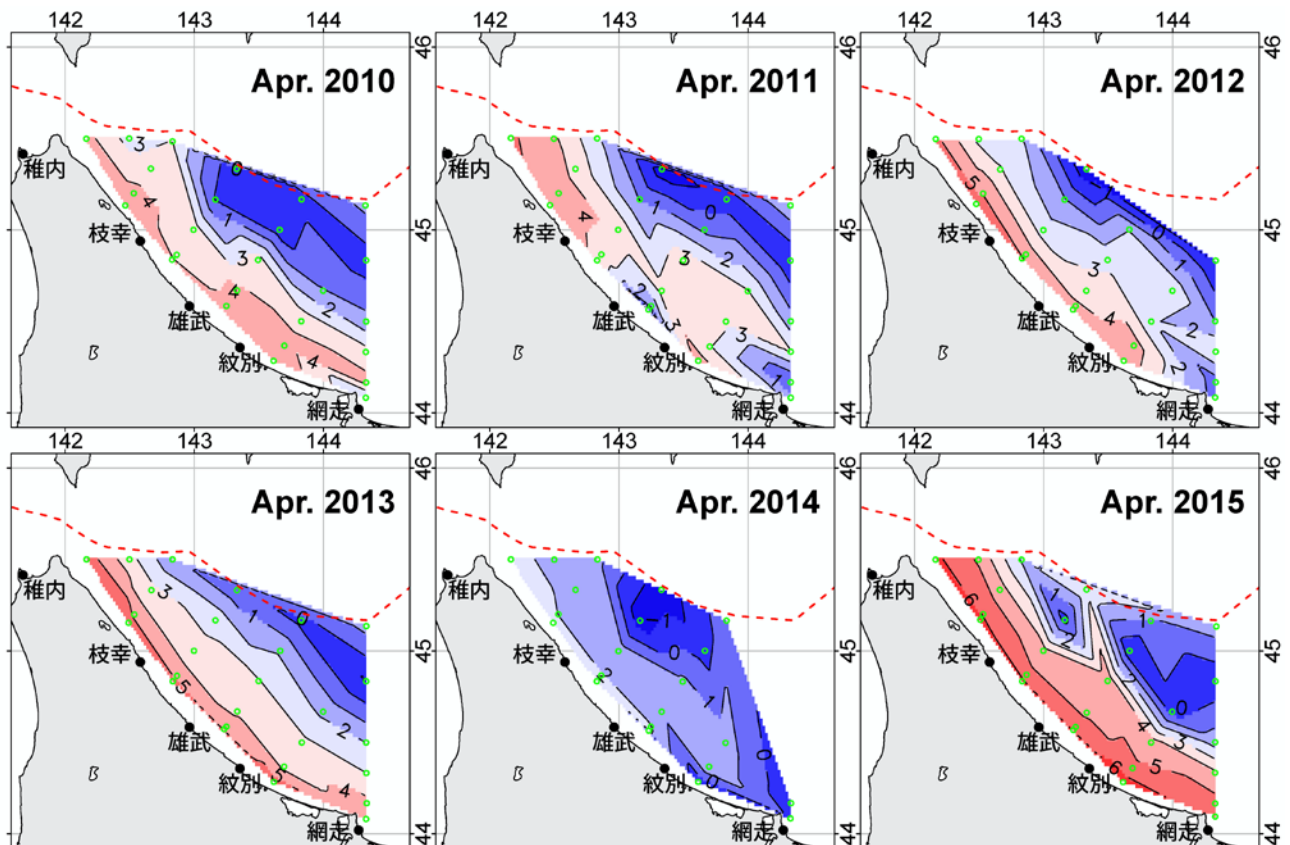


図1. 北海道沿岸オホーツク海における底層水温(°C)の分布. 2010~2015年4月.

3 魚群分布調査の結果

計量魚探で得られた 1 マイルあたり魚群反応量の分布を図 2 に、特徴的な魚探画像を図 3 に示します。今年度の調査では、宗谷岬東方沖の水深 100m 前後において比較的強い反応が観察されました（図 3 上）が、魚探反応の特徴からニシン主体の魚群である可能性が考えられました。スケトウダラと見られる反応は主に枝幸沖や紋別沖の陸棚上で観察されました（図 3 下）が、全体の分布量としては過去 2 年と同程度の低い水準と考えられました。

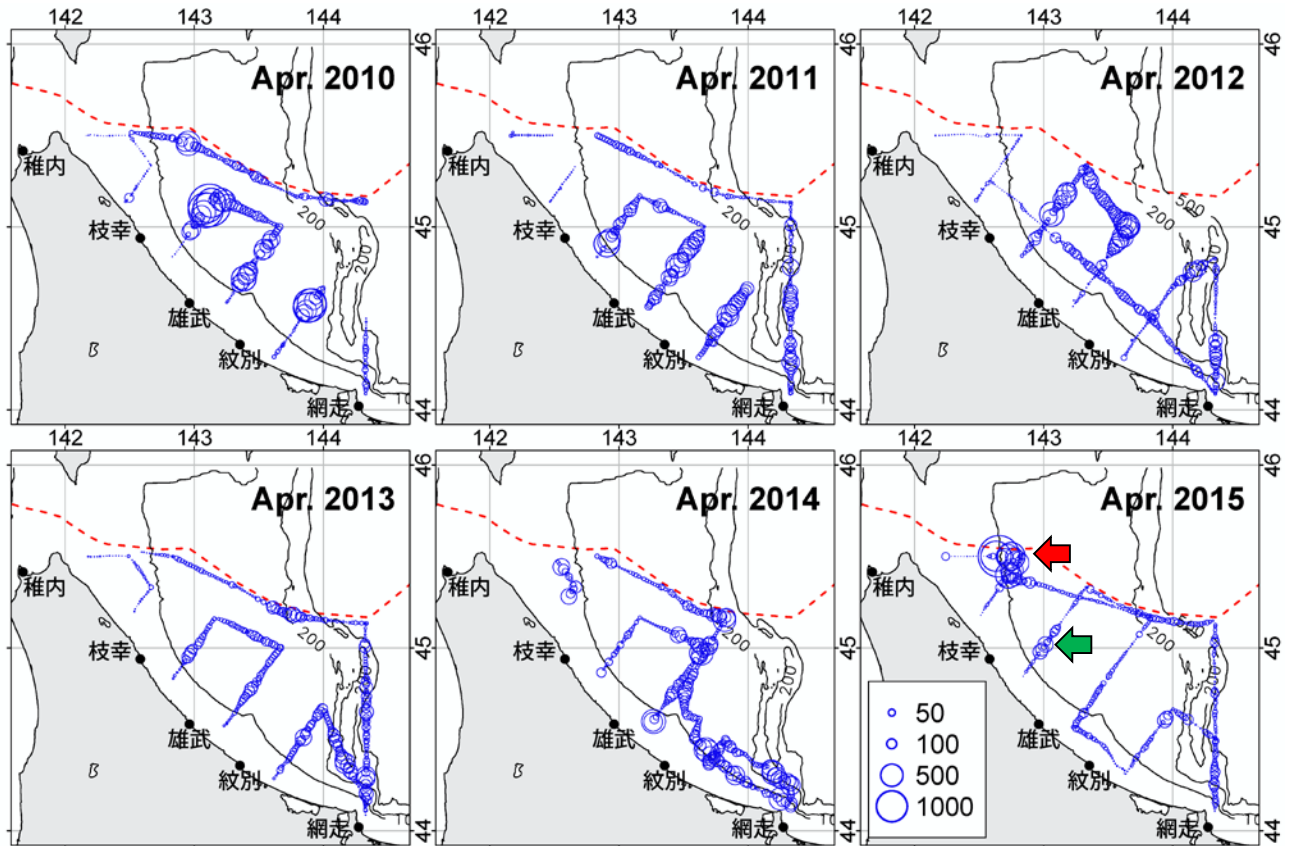


図 2. 北海道沿岸オホーツク海における魚群反応量 NASC (m^2/nm^2) の分布. 2010~2015 年 4 月.

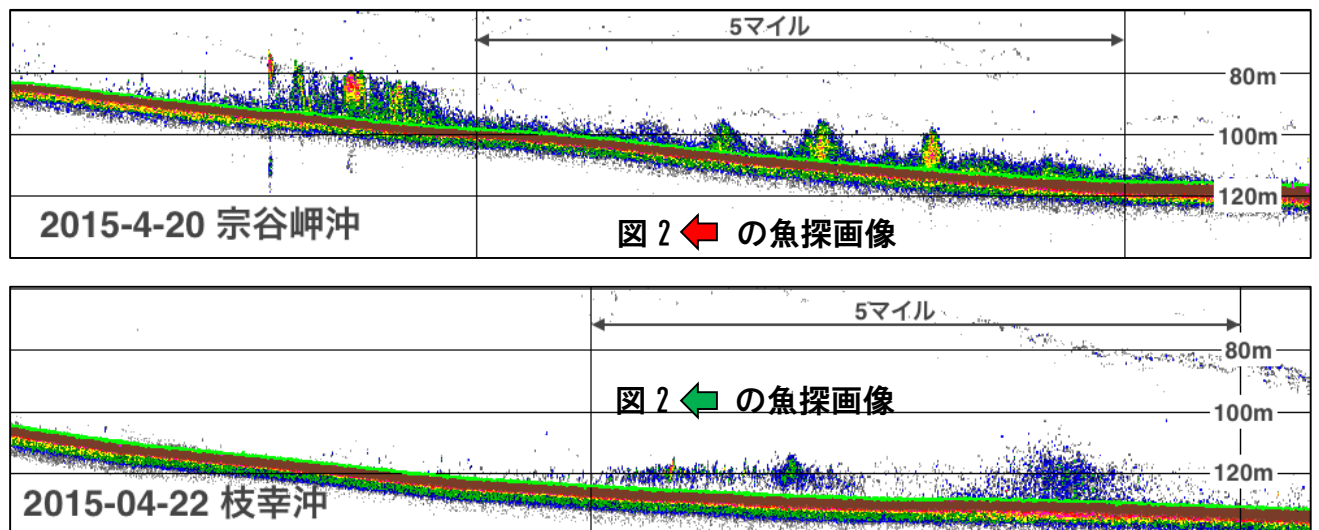


図 3. 2015 年 4 月の魚探画像：宗谷岬沖（ニシンまたはスケトウダラ），枝幸沖（スケトウダラ）.